



第7回ももはな会



開催日時：2019年4月20日（土）14：30～16：00

講演：「マンモグラフィーでわかること」 井上記念病院 乳腺外科医長 椎名伸充先生

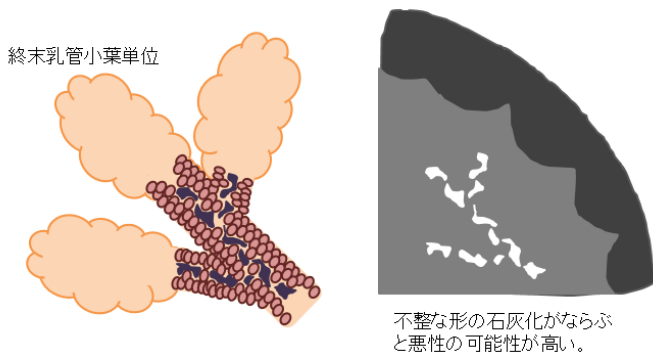
1. なぜマンモグラフィーなのか

- ・ 40-74歳の乳がん健診において唯一、死亡率低減効果が示されている
- ・ 乳がん術後のフォローアップで唯一、死亡率低減効果が示されている

2. 石灰化とは何ですか

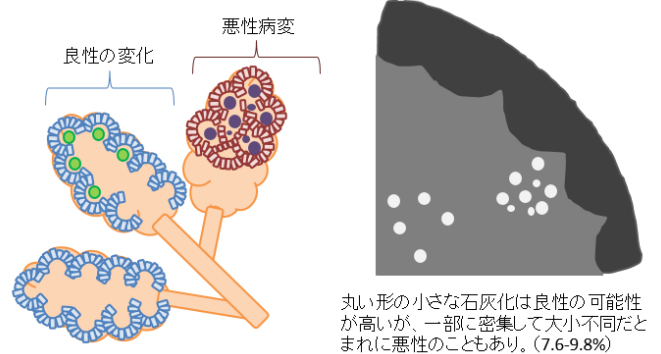
石灰化とは何か ①壊死型石灰化

- ・ 乳がん細胞は増殖するが一部は破綻して壊死する。壊死物質にカルシウムが沈着する。乳管の走行に添うため枝分かれしたり形も様々である。



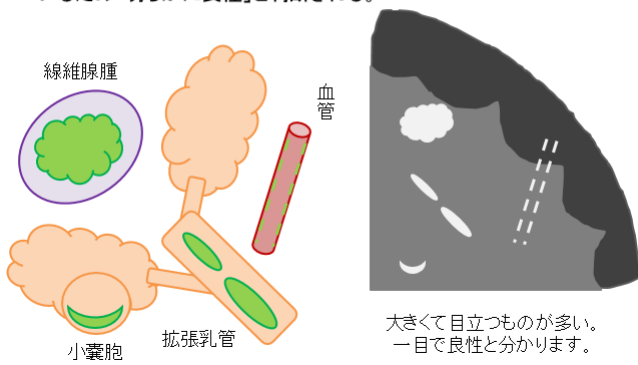
石灰化とは何か ②分泌型石灰化

- ・ 主に乳腺症の変化で乳管や小葉内の分泌物が濃縮されてカルシウムの沈着として残ったものだが、非浸潤癌などの分泌物にも起こり得る。



石灰化とは何か ③明らかな良性の石灰化

- ・ 乳房内の様々な構造物にも石灰化が見られるが、特徴的な形をしているため「明らかに良性」と判断される。



壊死性型石灰化、分泌型石灰化、明らかな良性の石灰化の3タイプに分けられ、壊死性型と分泌型の一部は悪性の可能性があります。

3. 高濃度乳房について

高濃度乳房とは、乳房の中の乳腺濃度が高いことを言います。高濃度乳腺の問題は2つあり、乳がん発症リスクが高いこと、マンモグラフィーでは乳がん検出感度が低いことがあげられます。対策としては、マンモグラフィー検査と超音波検査を併用することで、乳がん発見率は1.5倍に増加することがわかりました。

高濃度乳腺への対策

J-START

40歳代女性76,196人を対象と行われた、マンモグラフィー+超音波とマンモグラフィーのみをランダムに割り付けされた日本発、世界初の大規模臨床研究。

	マンモ+エコー	マンモのみ
感度	91.1%	77.0%
乳がん発見率	0.50%	0.32%
要精検率	12.6%	8.8%
生検実施率	4.5%	1.8%

エコー併用群で発見率は約1.5倍に増加したが、侵襲的な検査の施行数は約2.5倍増加し、検診の不利益も増加した結果となった。最終的な検討事項である死亡率の低減効果の検証までは時間がかかる。

4. マンモグラフィー検査は何で挟まなければならないの

何でそんなに挟まなければいけないの？

乳腺組織を挟んでのばして薄くすると、しこりの影がより浮かび上がりやすくなるためです。



ある？

あるかも？



あーあるね。いちごだね。

ちなみに軟らかい良性腫瘍と一緒にのびて薄くなるので目立ちません。硬い乳がんは伸ばされないで濃く写りコントラストがつきます。できるだけ乳腺を薄く伸ばしてあげることが発見のコツとなります。

何でそんなに引っ張られなければいけないの？

乳腺組織を引っ張って挟んであげると広範囲が一目で観察できるようになります。



なさそうだね



あれもしかして？



そんなところにもってたの！
いちごだね。

乳がんは膨らみの端の方にもしばしば出現します。できるだけ多くの組織を挟んで撮影範囲に含めることにより発見する機会が増えます。

マンモグラフィー 撮影のコツとは？

☆撮影について教科書には以下のように説明がされています。。。

「少なくとも組織がびんと張られるまで乳房を圧迫すること」
「受診者が耐えられる最大限の圧迫」すなわち過大な苦痛を感じない程度の圧迫であること。

リラックスが必要！

コミュニケーションが重要！

受診者をリラックスさせるための説明が必要！



つらいところ、気になることがある時は遠慮せずにお話し下さい。お互いの緊張が取れると良い体勢をとりやすく、強い痛みを感じる前に乳房もよく伸びた状態で撮影することができますよ。

5. まとめ

- ❁ 乳がん発見のための検査は日々進歩しており、今後様々な方法が試されていくものと思われます。
- ❁ 現時点、マンモグラフィーは健診や術後の follow で確かな死亡率低減効果が示され、最も信頼性の高い検査です。
- ❁ 特に石灰化病変の描写に優れ、乳がんの早期発見に寄与します。
- ❁ 高濃度乳房や遺伝性乳癌においては、マンモグラフィーのみでは限界が存在することも明らかとなり、検診の方法も今後個別化が進むものと思われます。
- ❁ マンモグラフィーの特性を知っていただくことにより、皆さまが今後もより良い検査を受けられるようになれば幸いです。

